

2019年度卒業生アンケート調査結果報告

<調査概要>

□ 調査の方法

調査対象 2019年度学部卒業生 ※ただし、法学部生を除く

調査時期 9月卒業生：2019年9月15日～2020年4月2日回収分までを集計対象とした

3月卒業生：2020年3月9日～2020年4月2日回収分までを集計対象とした

調査方法 原則、質問紙調査票を用いた、学生証番号記名式による学位記交付会場での集合調査法。

ただし、2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、学位記交付会場（学部窓口等）にて配布・回収した学部、郵送にて配布・回収した学部、両者の方法を混在させた学部の3パターンがある。

回収状況 回収率：91.2% 対象者数：6,310人 有効回答数：5,756件

□ グラフ参照時における共通注意事項

端数処理の関係上、肯定的回答の合計と内訳が一致しないことがある。

1 大学及び卒業学部・学科に対する満足度

図1は、「あなたは、法政大学および卒業学部・学科に対してどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5件法）の回答結果である。

法政大学満足度の肯定的回答（“満足”＋“やや満足”の回答の割合。以下同様）は87.0%であり、卒業学部・学科のそれは85.1%であった。

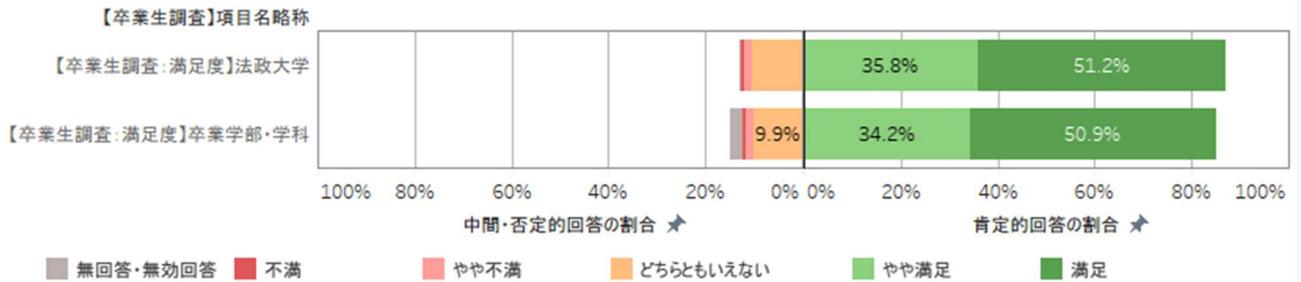


図1 法政大学及び卒業学部・学科に対する満足度

2 教育内容満足度

図2は、「教育内容についてどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5件法）の回答結果を肯定的回答（“満足”＋“やや満足”の回答の割合。以下同様）の多い順に並べたものである。

最も肯定的回答が多かったのは「専門教育」（84.2%）であり、「教養教育」（81.3%）、「教授陣」（80.5%）、「ゼミナール」（80.1%）、「専門教育カリキュラム」（79.4%）、「カリキュラム全般」（76.5%）、「情報教育」（67.1%）、「キャリア教育」（66.8%）、「英語教育」（59.4%）、「その他外国語教育」（59.1%）と続いた。

【卒業生調査】項目名..

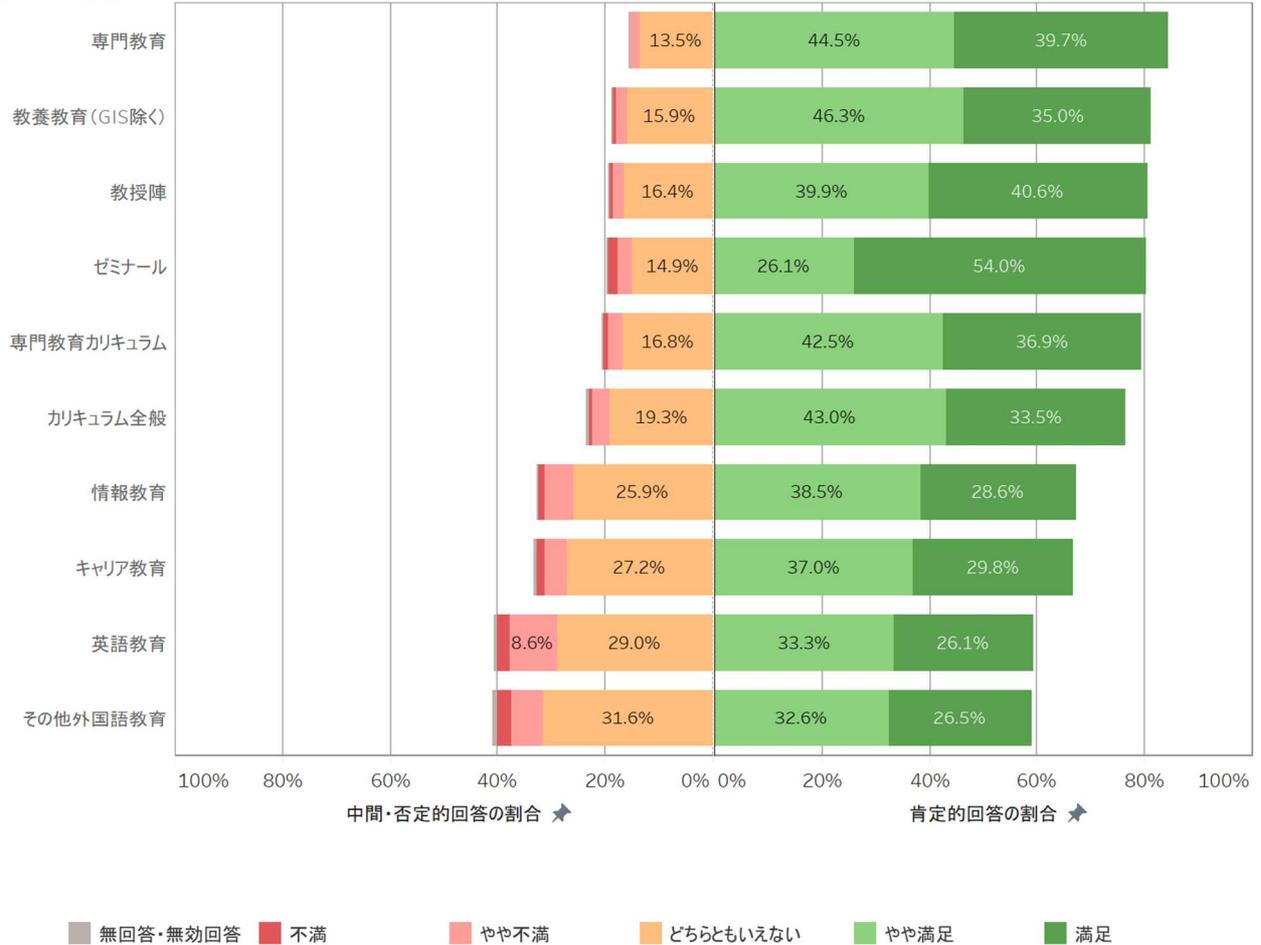


図2 教育内容満足度（降順）

3 大学における成長感

図3は、「大学での授業や活動を通して、以下の知識や能力、態度がどの程度変化しましたか。」（“かなり向上した”～“ほとんど向上していない”の4件法）と尋ねた質問の回答結果を肯定的回答（“かなり向上した”＋“ある程度向上した”と回答した者の割合。以下同様）が多い順に並べたものである。

最も肯定的回答が多いのは「自己判断能力」（93.8%）であり、「専門分野の知識」（91.5%）、「課題解決能力」（91.4%）、「情報リテラシー（収集・活用）」（89.5%）、「コミュニケーション能力」（89.0%）、「幅広い教養」（88.7%）、「課題発見能力」（88.6%）、「社会に出ていく自信・能力」（87.6%）、「チームワーク力」（86.3%）、「チャレンジ精神」（85.7%）、「専門分野の知識の応用力」（85.2%）、「プレゼンテーション能力」（83.3%）、「リーダーシップ能力」（75.7%）、「英語に関する能力」（55.5%）、「その他の外国語能力」（54.9%）と続いた。

【卒業生調査】項目名略称2

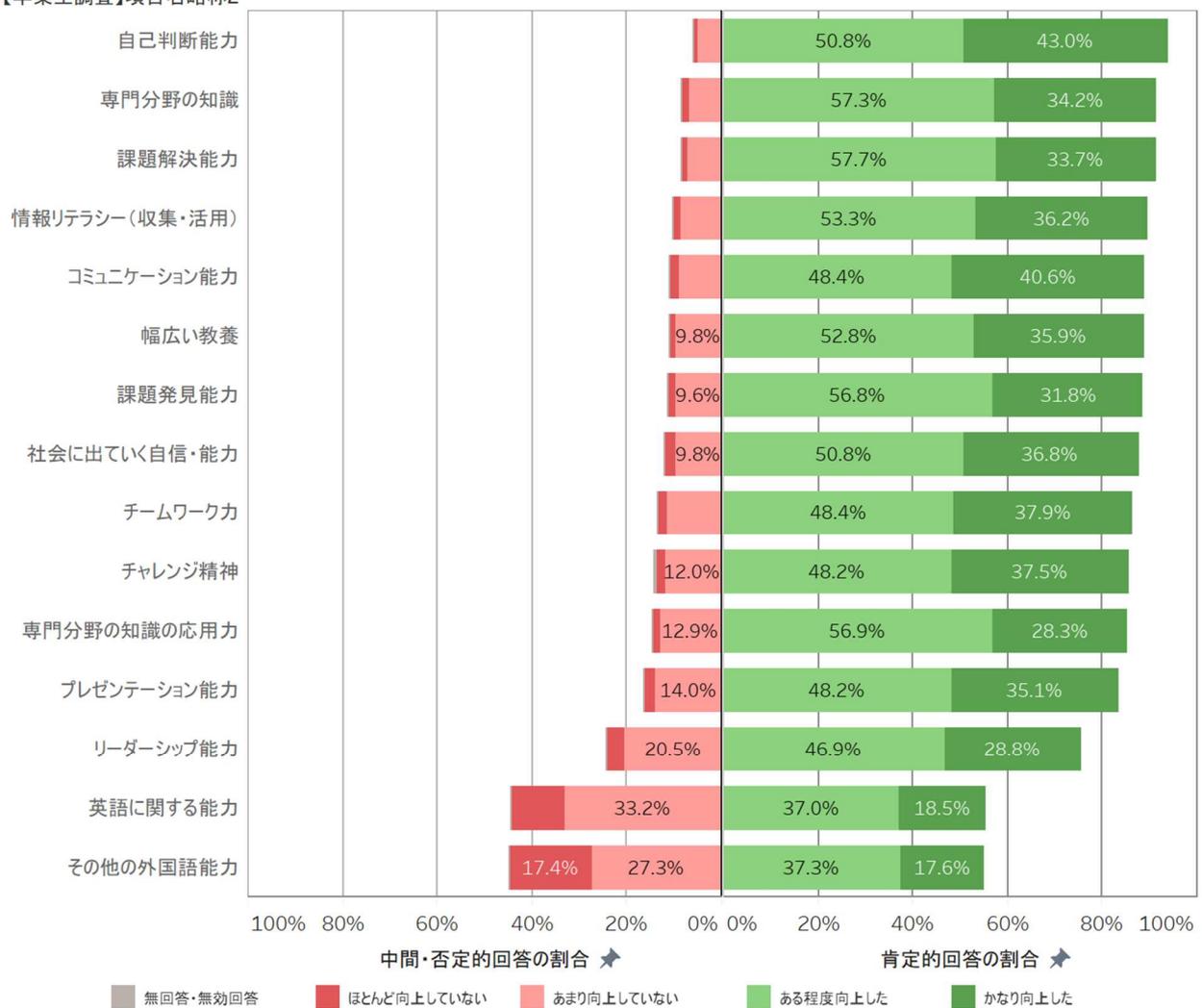


図3 大学における成長感（降順）

4 在学中の取り組み熱心度

図4は、「これまでの大学生活で次のような活動にどの程度熱心に取り組みましたか。」（“熱心に取り組んだ”～“熱心に取り組まなかった”の4段階尺度及び“経験なし”を含む5つの選択肢から1つを選択）と尋ねた質問の回答結果を肯定的回答（“熱心に取り組んだ”＋“ある程度熱心に取り組んだ”と回答した者の割合。以下同様）が多い順に並べたものである。

項目を4つの種類に分けてみていくと、まず学習過程の取り組みと関係の強い項目は、「自分で文献や資料を調べる」（83.3%）、「自分の考えや意見の発表」（79.9%）、「学生同士の議論」（73.1%）、「卒業論文・研究」（68.8%）の順に肯定的回答が多い。第2に、学習内容に関する項目は、「専門分野の学習」（82.4%）、「一般教養の学習」（83.2%）、「情報教育に関する学習」（64.8%）、「英語の学習」（57.4%）、「その他外国語の学習」（52.3%）、「資格試験・公務員試験対策」（47.6%）と続く。第3に、正課外活動と関係の強い項目は、「アルバイト」（83.2%）、「就職活動」（75.2%）、「部活・サークル活動」（69.0%）、「インターンシップ」（57.8%）、「ボランティア活動」（36.9%）と続く。また、“経験なし”の割合は、「部活・サークル活動」が15.8%、「ボランティア活動」が38.5%であった。

そして最後に、在学中の交流に関する項目は、「クラス・ゼミの友人との交流」（78.5%）、「学外友人との交流」（73.2%）、「部活・サークル友人との交流」（69.0%）、「教員との交流」（54.0%）、「外国人との交流」（42.3%）と続く。「外国人との交流」は、“経験なし”の割合が25.0%であった。

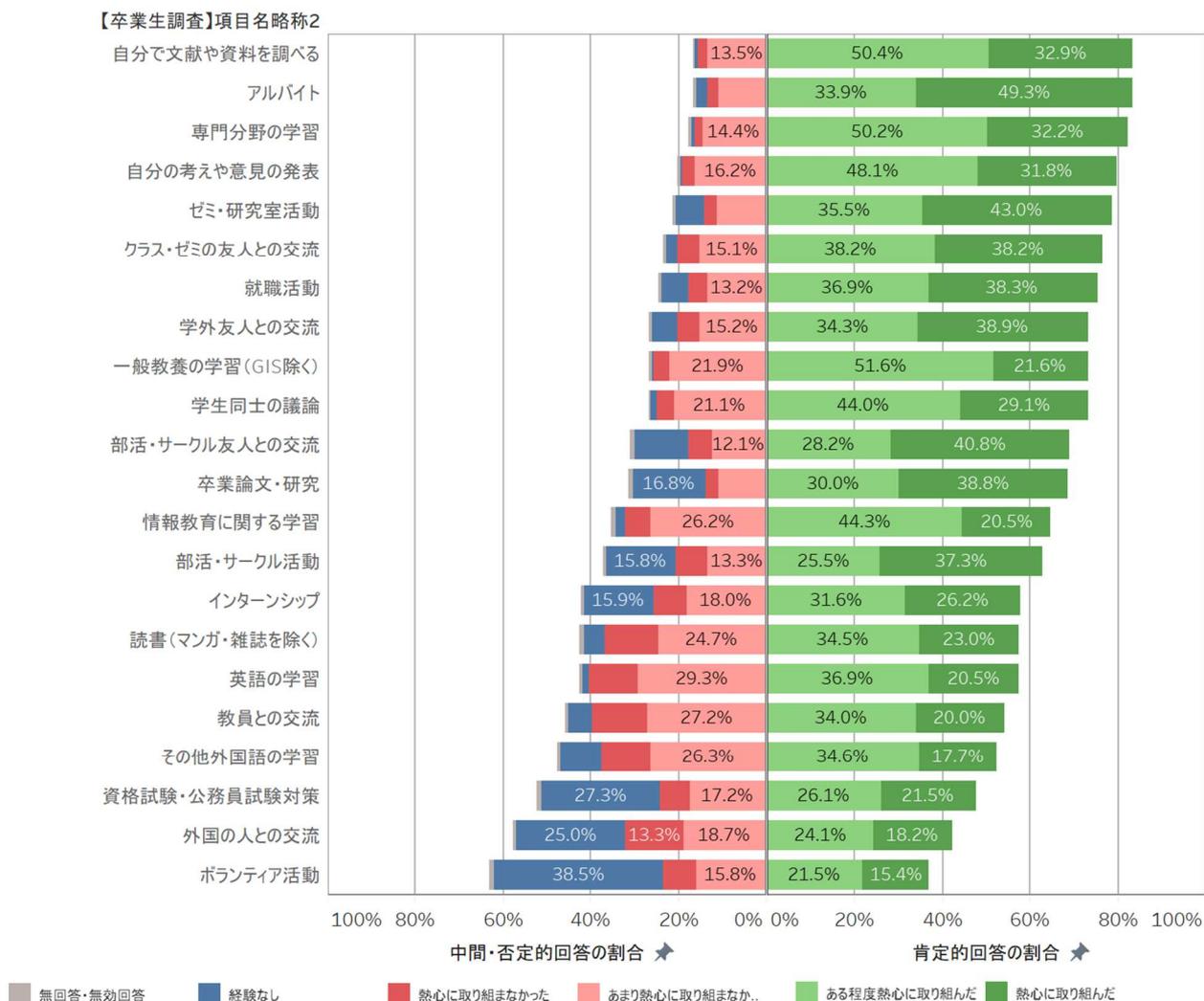


図4 在学中の取り組み熱心度（降順）

5 サービス・施設設備満足度

図 5.1～5.2 は、「大学のサービスや施設、設備に対してどの程度満足していますか。」（“満足”～“不満”の5段階尺度及び“利用したことがない”を含む6つの選択肢から1つを選択）と尋ねた質問の回答結果である。

まず、図 5.1 は、“利用したことがない”と回答した者を含めた回答結果を肯定的回答（“満足”＋“やや満足”）と回答した者の割合。以下同様）が多い順に並べたものである。最も肯定的回答が多いのは「図書館」（80.3%）であり、「コンピュータ」（71.4%）、「建物・教室」（70.4%）、「学生ホール・サークル施設等」（70.0%）、「学部窓口」（68.8%）、「学生センター」（66.6%）、「食堂」（64.3%）、「キャリアセンター」（52.8%）、「交通の便」（49.6%）、「学習環境支援」（44.2%）、「国際交流支援」（38.7%）と続いた。

一方、図 5.2 は、“利用したことがない”と回答した者を除いた回答結果を肯定的回答が多い順に並べたものである。最も肯定的回答が多いのは、上記と同様、「図書館」（81.7%）であるが、そのほかは「コンピュータ」（73.5%）、「学生ホール・サークル施設等」（71.3%）、「学生センター」（70.9%）、「建物・教室」（70.8%）、「学部窓口」（69.7%）、「食堂」（65.2%）、「キャリアセンター」（59.0%）、「学習環境支援」（58.1%）、「国際交流支援」（56.0%）、「交通の便」（50.0%）と続いた。

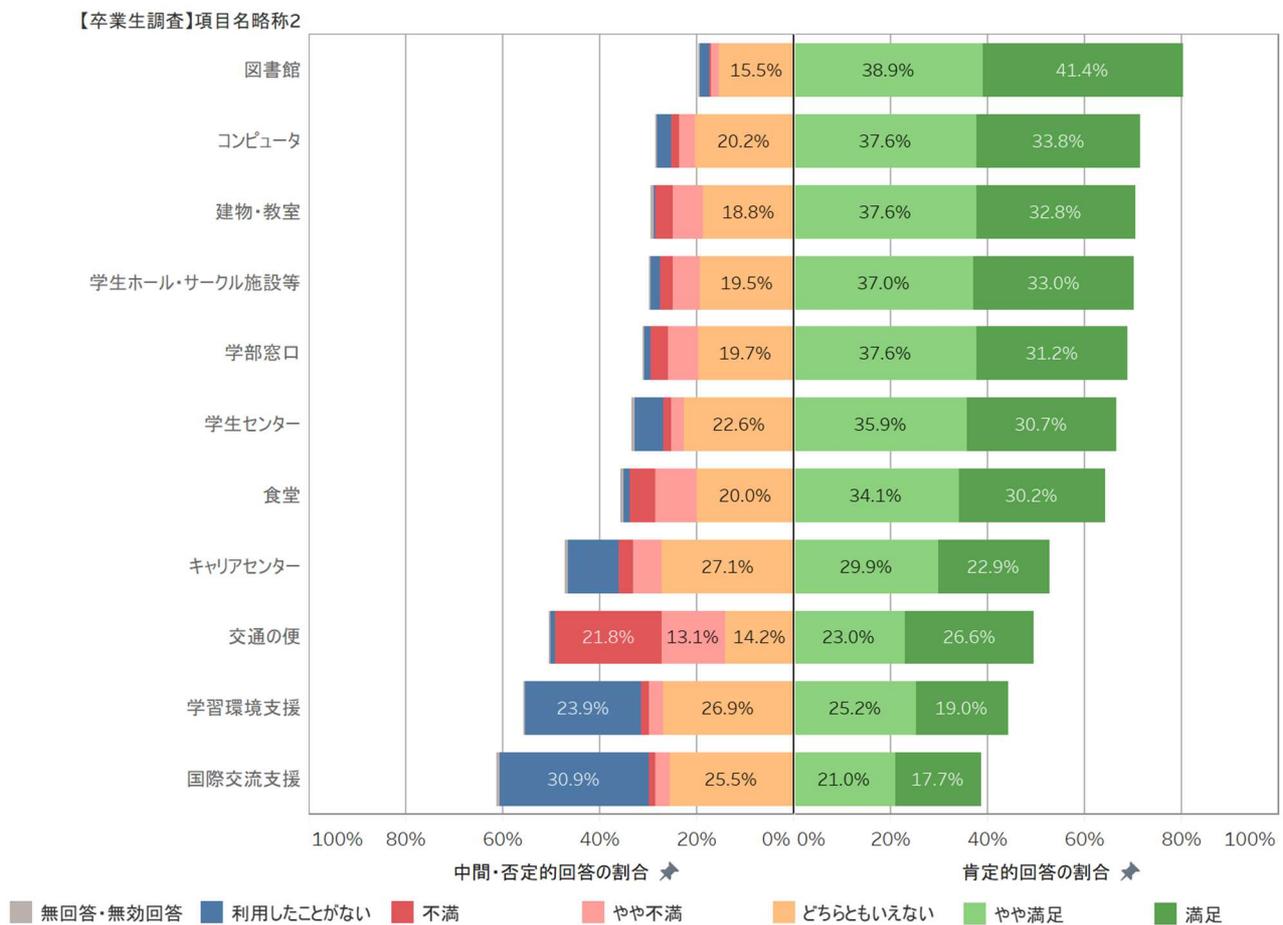


図 5.1 サービス・施設設備満足度（降順）

【卒業生調査】項目名略称2

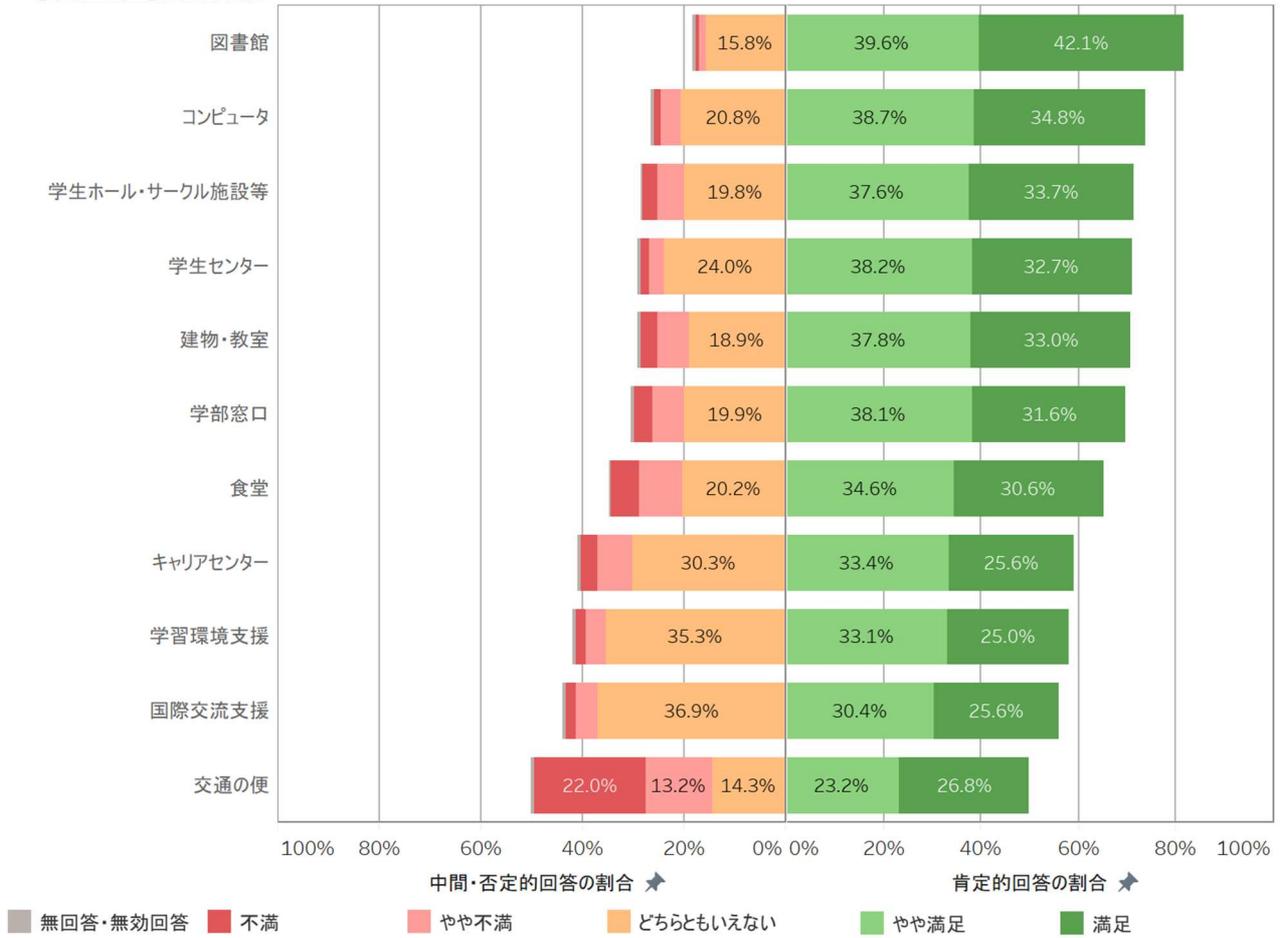


図 5.2 サービス・施設設備満足度（降順） ※「利用したことがない」を除外

6 法政大学のイメージ

図6は、「法政大学は社会からどのように評価されていると思いますか。あなたのイメージと近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果を肯定的回答（“そう思う”＋“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が多い順に並べたものである。

最も肯定的回答が多かったのは「社会的評価（社会的に高く評価されている）」（75.7%）であり、「卒業生の活躍（卒業生は社会的に活躍している）」（74.3%）、「教育研究水準（教育研究水準は相対的に高い）」（68.3%）、「国際交流（国際交流は活発である）」（65.9%）、「社会貢献（教育研究を通じて社会貢献）」（65.5%）、「環境への取り組み（環境への取り組みを通じて社会貢献）」（60.0%）と続く。

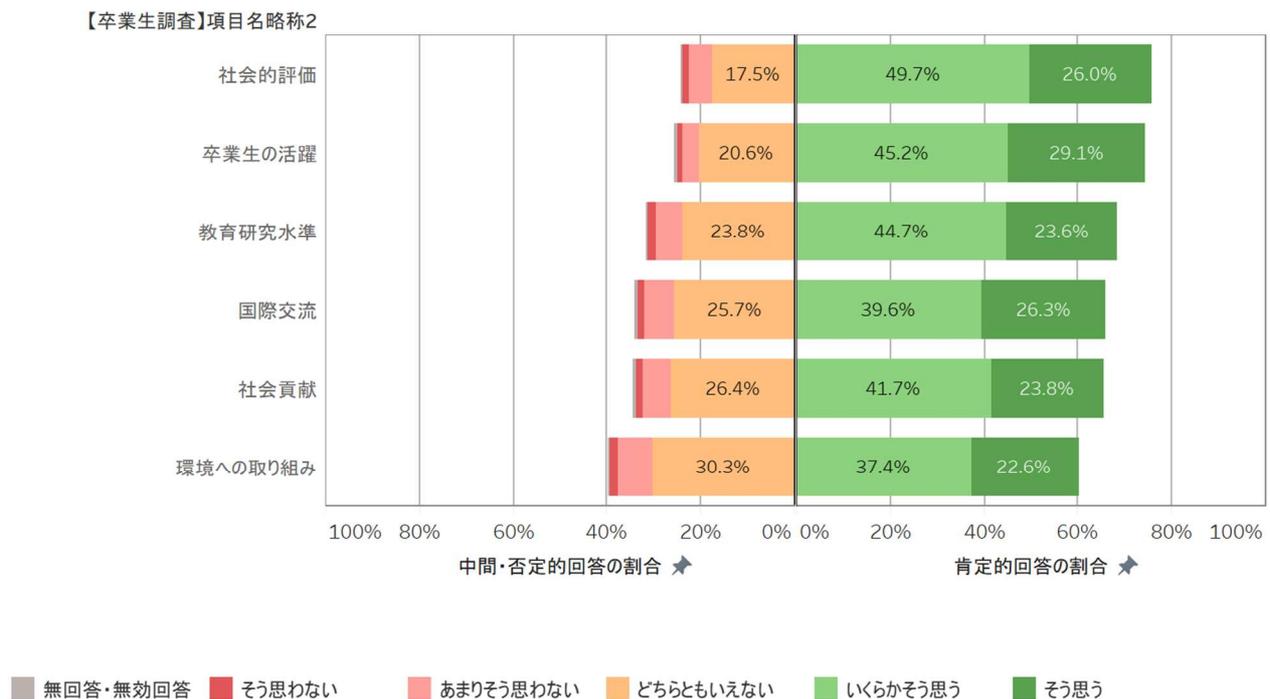


図6 法政大学のイメージ（降順）

7 大学生活の実感

図7は、「法政大学を卒業するにあたり、その感想として最も近いものを選んで、該当する番号を○で囲んでください。」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果を肯定的回答（“そう思う”＋“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）が多い順に並べたものである。

最も肯定的回答が多かったのは「良い交友関係を築けた」（88.9%）であり、「健康に過ごせた」（87.2%）、「充実した大学生活を過ごせた」（87.0%）、「法政大学卒業を誇りに思う」（85.7%）、「希望進路に進めた」（80.4%）、「継続したい教職員との繋がりができた」（64.0%）、「国際的な雰囲気を実感」（47.3%）と続く。

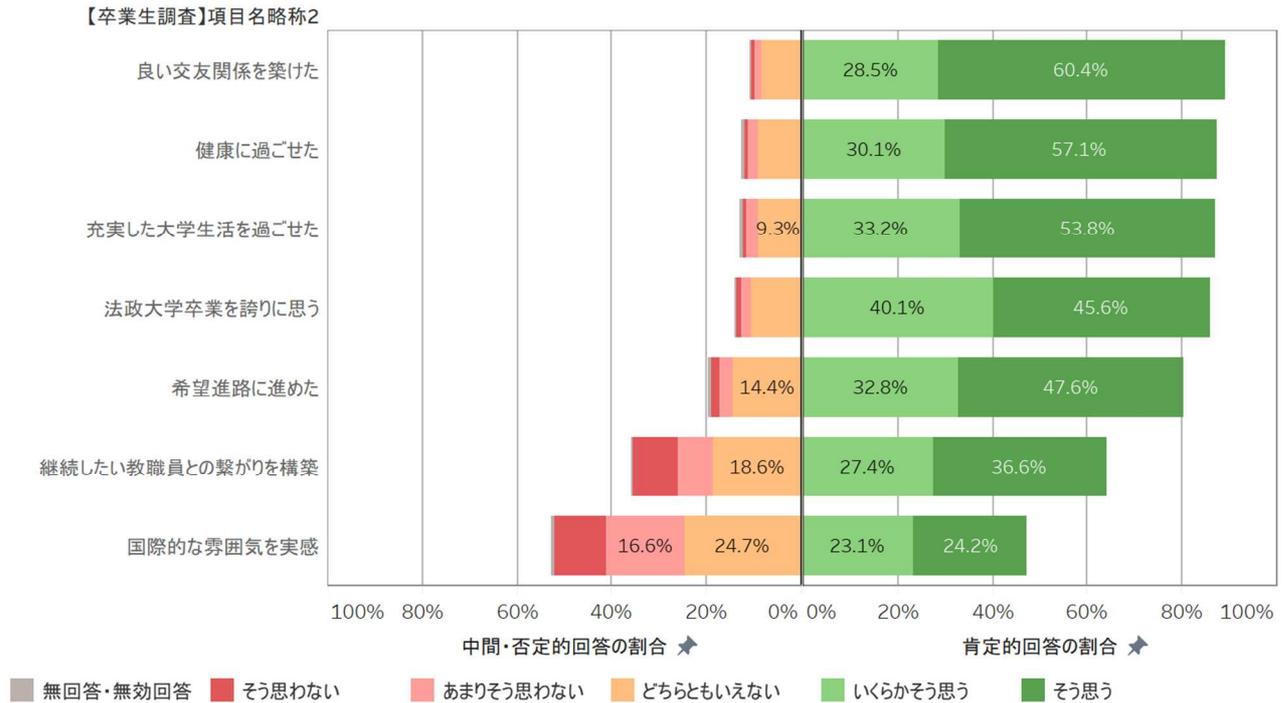


図7 大学生活の実感（降順）

8 法政大学推奨度

図8は、「もし、あなたの身近に四年制大学への進学希望者がいる場合、法政大学を勧めたいと思いますか」（“そう思う”～“そう思わない”の5件法）と尋ねた質問の回答結果である。

2019年度卒業生の肯定的回答（“そう思う”＋“いくらかそう思う”と回答した者の割合。以下同様）は79.5%であった。



図8 法政大学推奨度

以上